

第5章 基本施策の展開について

第1節 特色ある観光地づくり

(1) 地域資源の磨き上げによる魅力の向上

本市には、豊富な地域資源がありますが、全国から誘客できる観光資源は少ない現状にあることから、既存の地域資源の魅力を確認し、観光資源として積極的に活用することで、観光地の知名度と魅力の向上を図ります。

既存の地域資源としては、周南コンビナートが織りなす工場夜景や、太華山をはじめとする瀬戸内海国立公園などの自然景観、温泉などがあります。

また、ふぐ、はも、たこをはじめとした「食」及び周南冬のツリーまつりなどのイベント開催は、旅行者の興味度が高い観光動機となる重要な地域資源です。

こうした素晴らしい地域資源を生かし、発展させることで、本市の代表的な観光資源の創出を図ります。



工場夜景

(2) 求められる観光メニューの創造

観光旅行の傾向は「観る」から「体験」へ移行しており、体験型観光を取り入れた観光ルートの設定などが求められています。

こうしたことから、観光客のニーズに応じたオーダーメイド型観光などの観光メニューの創造を図ります。

また、本市には多くの豊かで美しい自然を有していることから、この豊かな自然を生かした観光メニューの充実や、地域住民との連携や協働による体験型観光であるスロートーリズム観光を推進します。



中須棚田農業体験

《主な取り組み例》

工場夜景、徳山動物園などの魅力ある観光資源の磨き上げに取り組みます。
体験ニーズに対応した観光ルートの開発など、オーダーメイド型観光の充実に努めます。
工場見学や酒蔵巡りなどの「産業」をテーマとした観光ツアーの充実など、産業観光の推進を支援します。
地域資源を活用したスローツーリズム等の体験型観光の充実に努めます。
来園者の増加に向けた徳山動物園のリニューアル事業に取り組みます。
ビジネスや視察目的の来訪者向けの短時間で巡る観光ルートなどの開発に努めます。
体験型教育旅行の受入や都市部と農山漁村地域の交流を推進します。

第2節 集客力につながる連携の強化

(1) 市内における連携

集客力の向上を効果的に進めるためには、行政と各種観光関連団体の有機的な連携の下、観光振興の目的や方向性について共通認識し、お互いに情報の共有を図り、明確な役割分担による施策展開を行うことが重要です。

そのため市は、(一財)周南観光コンベンション協会をはじめとする観光に関わる全ての団体や組織との円滑な連絡体制を構築することで、イベントなどの具体的な取り組みや課題などについて、多面的な意見を集約し効果的な事業の実施を図ります。

また、市内の観光地相互の連携により観光客の滞在時間を延ばすことで、周南市の魅力をより感じていただくとともに、地域経済の活性化を図ります。

(2) 広域における連携

交通面の利便性向上などにより、より多くの観光地や観光資源を短い時間で巡り楽しむ周遊型の観光志向が高まっており、複数の観光地や地域の連携による広域観光の推進が、長期滞在等の経済効果の波及に向けた課題となっています。

周遊型広域観光を求める観光客の動向を踏まえ、山口県との連携はもとより、光市・下松市・周南市で形成する周南地域、及び防府市と周南市の周防地域を広域的な観光エリアと位置づけ、お互いの地域資源を活かしながら広域エリアで連携することにより、県外からの観光客の誘客力向上を図ります。

《主な取り組み例》

官民協働による観光事業の推進体制の構築を図ります。

地域資源を活かした新たな商品開発など、民間事業者の観光産業に向けた取り組みを官民連携のもと推進します。

光市・下松市との周南地域や防府市との連携を強化し、広域エリアでの観光キャンペーンなどの観光誘客活動に取り組みます。

平成30年の明治維新150年に向けた観光キャンペーン事業の推進を図ります。

第3節 受入体制の充実

(1) 受入体制の充実

観光地の歴史や文化を紹介する観光ボランティアガイドの育成及び有効活用を行い、おもてなし観光の充実を図ります。

また、交通事業者等と連携し、観光ルートマップの作成やサイン看板の整備など、路線バスや観光タクシーなどの二次交通の利用促進を図ります。

次に、「宿泊」「食」「遊ぶ」「体験する」等の来訪者の知りたい情報をワンストップで提供できる場の充実を図ります。

各種団体の観光誘客に関する取組みについては、必要な情報の提供や調整により、積極的な誘客活動を支援します。

(2) 観光施設の適切な管理

観光客に分かりやすい表示及び高齢者、障害者、外国人などに配慮した観光案内表示板や各種案内看板の充実を図るとともに、観光施設の適切な維持管理に努めます。

《主な取り組み例》

来訪者にわかりやすい、観光案内看板等の整備を図ります。
官民連携のもと観光ボランティアガイドの育成及び充実を図ります。
観光ルートマップの作成やサイン看板による二次交通の充実を図ります。
観光客が知りたい情報を、ワンストップで提供できる場の充実を図ります。

第4節 コンベンションの積極的誘致

(1) 誘致活動の推進

各種大会や企業・学会等の研修会などの誘致の実現に向け、様々なチャンネルを活用して、全国で開催されるコンベンション情報を幅広く収集します。

市内のスポーツ施設をはじめとする関連施設の稼働状況やキャパシティ等を踏まえ、誘致すべきコンベンションのターゲットを次のとおり設定したうえで、スポーツ、文化・芸術等の市内の関係団体と連携しながら戦略的な誘致活動を展開します。

《誘致ターゲット》

種 類	規 模	人 数
スポーツ系	中国大会、西日本大会	1,000人まで
ビジネス系※11	全国大会	

(2) 開催協力及びおもてなしの強化

コンベンション主催者に対する支援として、開催費の一部を助成するほか、コンベンションの準備から開催、アフターコンベンションまでのトータルサポートに努めます。

また、参加者に対する支援として、各種ノベルティ※12や観光パンフレット等の提供、会場における観光コンシェルジュ機能※13の配置など、参加者の満足度向上に努めるとともに、市内の関係団体と連携しながら、会場における歓迎のぼりの掲出、特産品や土産品の出店販売をはじめとした各種おもてなしの充実を図ります。

※11 ビジネス系・・・企業や学会の会議、業界団体等の総会や定期大会、研究発表会、展示会など

※12 ノベルティ・・・宣伝や広告のために会社名などを入れて配付する贈呈用の品物

※13 コンシェルジュ機能・・・参加者の要望や案内に対し総合的に対応する機能

(3)アフターコンベンションの充実

コンベンション主催者の意向を踏まえながら、観光ボランティアガイドを活用したおもてなし観光や工場夜景鑑賞ツアーなど市の特性を活かした観光メニュー等を提供することで、アフターコンベンションの強化や充実を図ります。

《主な取り組み例》

各種大会、企業・学会等の会議及び研修会などの誘致活動を推進します。
民間団体等と連携し、コンベンション開催支援に取り組みます。
工場夜景鑑賞ツアーなどショートトリップの充実を図ります。
おもてなし対応及び受入体制の整備等に取り組みます。

第5節 国際観光の推進

国際観光については、山口県や関係団体等と連携を図りながら、外国人観光客のニーズを多角的に分析したうえで、観光客に対する体験メニューの充実を図り、地域のPRやITツールを活用するなど、海外向けの情報発信に努めます。

また、訪日外国人観光客等に配布する多言語パンフレットの作成や、わかりやすい観光案内表示の整備を行うなど、おもてなしの強化を図ります。

《主な取り組み例》

外国語版山口県観光情報サイト「ビジット! 山口」を活用するなど、県と連携し、主に東アジア諸国をターゲットにした海外への情報発信の強化を図ります。

観光案内表示や観光パンフレットなどの多言語化を図ります。

教育機関との連携により、外国人留学生を活用した海外への情報発信など、国際観光誘客に向けた取り組みを図ります。

第6節 魅力の発見と戦略的な情報発信

(1) 情報発信力の強化

情報発信による知名度向上を図るため、地域の魅力や観光情報の収集に努めるとともに、観光誘客に向けた効果的な観光情報の発信や充実に取り組みます。

特に、アンケート結果などのデータに基づいてターゲットとなるエリアや年齢層を絞り、効果的な宣伝広告や観光キャンペーン等を戦略的に行うことで、県外からの観光誘客の増加を目指します。

(2) 様々な手法を活用した情報発信

インターネット環境の普及によるソーシャルネットワーク(SNS)などのITツールを活用し、タイムリーかつ効果的な観光情報の発信を図るとともに、観光情報誌への掲載やパンフレット、ポスターの作成など、様々なメディアを通じての情報発信を図ります。

(3) 知名度向上に向けた取り組み

「みつけて周南 ゆる旅キャンペーン」のポスターやパンフレットなどによる視認性の高いアイテムを利用した、プロモーション活動を継続的に実施するとともに、日本夜景遺産にも認定され認知度や興味度が高まっている「工場夜景」を活用したPRの実施により、本市の知名度の向上を図ります。

《主な取り組み例》

ホームページやソーシャルネットワーク(SNS)などのITツールを活用した情報発信の充実を図ります。
雑誌、ポスター、各種メディアの様々なチャンネルを利用した情報発信を図ります。
広島県、岡山県等の近隣都市からの観光客にターゲットを絞った観光キャンペーンを実施します。